

## 水循環複合システム計画指針策定調査

全体期間

1998.3～1999.7

## (目的)

本調査は、平成8年度に実施された「都市開発における水循環複合システムと下水道整備のあり方に関する研究会」の成果を踏まえ、都市開発において整備する、オンサイト貯留浸透施設や分散型調整池等のオフサイト貯留施設の効果を反映した下水道計画を策定するとともに、環境、利水、アメニティ性の面で付加価値を持った雨水自立型下水道システム（仮称）計画の指針について検討するものである。

水循環複合システムとは、従来の雨水排水系統に各種のオンサイト型の雨水貯留浸透施設及び、下水道中流部における分散型調整池を導入し、降雨の流出を抑制することによって下水道及び下流河川への洪水負担の軽減を図るとともに、これらの施設が有する地下水涵養等の環境保全機能及びアメニティ機能、利水機能を組み込み、これらを一体的システムとするものである。

## (結果)

本年度の調査は水循環複合システム指針を策定する上で、その骨子となる指針の全体構成と、指針をとりまとめる際に参考とすべき既存資料調査を行った。

## 1. 指針全体構成の検討

水循環複合システムを組み込んだ下水道施設計画を策定する上で検討すべき項目を、指針の目次案として検討した。

## 2. 基礎資料調査

水循環複合システムを組み込んだ下水道施設を構成するオンサイト型貯留・浸透施設、分散型貯留施設について、その構造や設置・維持管理に関する担保方策を検討するための既存資料を収集して整理した。また、水循環複合システムの根幹となる雨水流出抑制型下水道システムの計画・設計に関する既存の指針や基準などを整理した。

住宅・都市整備公団からの受託研究

研究担当者：前田 正博，渡邊 聡，木内 悟，永松 真一

キーワード

水循環複合システム，オンサイト型貯留浸透施設，分散型調整池